

【2018年7月7日～2018年7月13日までの推移】

【1】先週の回顧

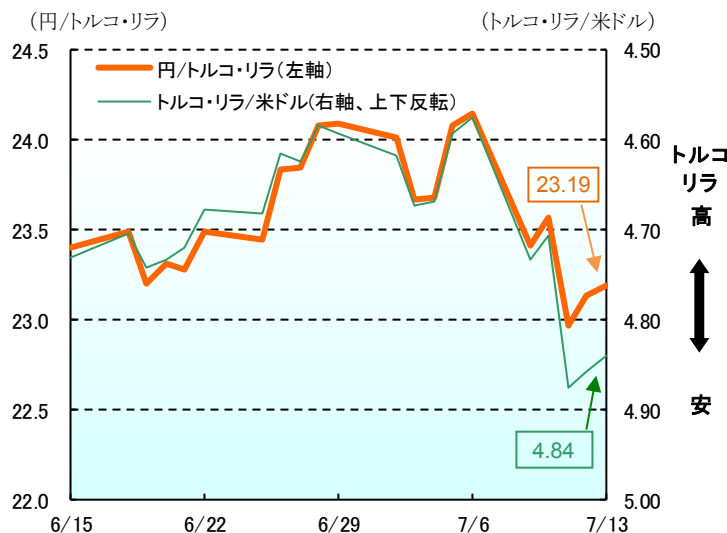
先週のトルコ・リラ相場は対米ドル、対円ともに下落しました。またトルコの2年国債金利は上昇しました。

7月9日（現地、以下同じ）に発表された新政権の閣僚人事では、エルドアン大統領の娘婿であるベラト・アルバイラク氏が財務金融大臣に任命されました。金融市場からの評価が高かったシムシェキ前副首相とアーバル前財務相は閣僚に任命されませんでした。また、エルドアン大統領は、中央銀行総裁と副総裁を指名する権限を大統領に与える大統領令を発表しました。これら一連の動きを受けて、経常赤字や財政赤字の拡大への対応や中央銀行の独立性低下が懸念され、トルコ・リラは対米ドルで史上最安値まで売られました。国債も売られ、金利は上昇しました。格付会社のフィッチ・レーティングスは13日に、トルコ国債の格付けを「BB+」から「BB」に引き下げました。

【2】今週の見通し

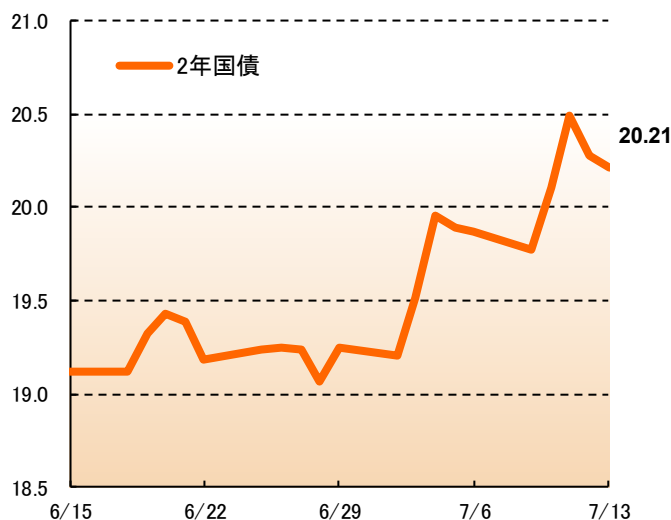
今週は、市場は一旦様子見姿勢となることが予想されます。新政権の閣僚人事およびエルドアン大統領の実権強化を受けて、トルコ市場では通貨、国債、株式いずれも大幅に売られたものの、次週24日の金融政策決定会合が注目されています。金融引き締めが行われれば、トルコ・リラが買い戻される契機になりうる一方、金融緩和が行われれば中央銀行の独立性が脅かされたとみなされ、トルコ・リラの大幅安につながると考えます。経済指標では、6月の財政収支と5月の鉱工業生産などが発表される予定です。

【トルコ・リラ 為替推移】（2018年6月15日～2018年7月13日）



※四捨五入の関係で数値とグラフの目盛りが一致しない場合があります。

【トルコ 金利推移】（2018年6月15日～2018年7月13日）



（出所：ブルームバーグより大和投資信託作成）

当資料のお取り扱いにおけるご注意

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものであり、勧誘を目的としたものではありません。■当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。■当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、将来の成果を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。■当資料中における運用実績等は、過去の実績および結果を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。■当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。

販売会社等についてのお問い合わせ⇒大和投資信託 フリーダイヤル 0120-106212(営業日の9:00～17:00) HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>